

- 問1 インドにおける二酸化炭素排出量と経済状況について、統計資料から読み取れる特徴とその背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 兵庫県公立入試 類似)
1. 森林資源が極めて豊富なため、工業化が進んでも国全体の二酸化炭素排出量はマイナスを維持している。
 2. 1人あたりの所得水準が世界最高水準に達したことで、自家用車の普及が飽和状態になり排出量が微増している。
 3. 人口減少社会に突入しており、労働力不足から工場が閉鎖されているため、総排出量は年々減少している。
 4. 膨大な人口を背景に、安価な石炭を主なエネルギー源とした急速な工業化が進んでいるため、総排出量が多い。
- 問2 ユーラシア大陸の南西部に位置するアラビア半島の地理的な特徴と地域区分に関する説明として最も適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
1. アフリカ大陸の北東側に位置し隣接していますが、六大州の区分ではアジア州に分類されます。
 2. 紅海の西側に位置しアフリカ大陸と一体となっているため、六大州の区分ではアフリカ州に分類されます。
 3. 地中海の北側に位置しヨーロッパと近接しているため、六大州の区分ではヨーロッパ州に分類されます。
 4. 太平洋とインド洋に面する島々で構成されているため、六大州の区分ではオセアニア州に分類されます。
- 問3 中国の急速な経済発展に伴って発生している、社会的な課題や環境問題についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 茨城県公立入試 類似)
1. 工業化や自動車の普及により、PM2.5などの物質による深刻な大気汚染が発生しており、同時に、発展した沿岸部と開発が遅れた内陸部との間の経済格差が大きな問題となっている。
 2. 経済特区における海外企業の活動が制限されたため、現在は内陸部の農業振興が経済の主軸となっており、環境問題よりも食料自給率の向上が最優先課題となっている。
 3. 白豪主義と呼ばれる政策の影響で海外からの労働力が不足しており、経済発展が停滞した結果、都市部での排気ガスによる環境負荷は年々減少傾向にある。
 4. 公害対策が法律で厳格に運用されたため、大気汚染はすでに解消されており、現在は内陸部の重化学工業化を進めることで地域間の経済格差もほとんどなくなっている。
- 問4 東南アジアのタイにおいて、1980年代以降に米や天然ゴムの輸出割合が低下し、代わって自動車や機械類の輸出が急増した背景にある経済的な理由は何ですか。 (2022年 岐阜県公立入試 類似)
1. 国内の農地をすべて工業団地に転用し、農業生産を完全に停止したため
 2. 政府による外資導入政策により、海外から多くの製造業が進出したため
 3. 伝統的な手工業を近代化させ、高価な工芸品を主力輸出製品としたため
 4. ASEAN（東南アジア諸国連合）を脱退し、独自の保護貿易政策をとったため
- 問5 かつてコンスタンティノーブルと呼ばれた歴史的な都市を擁し、アジアとヨーロッパを隔てるボスボラス海峡が位置する国では、2013年に日本の建設会社が関わった全長13.6kmの海峡横断鉄道トンネルが開通しました。この国は、1980年代に2%を超える人口増加率を記録し、2010年頃には10%に近い経済成長率を達成するなど、近年目覚ましい発展を遂げています。この国名を答えなさい。 (2019年 東京都公立入試 類似)
1. トルコ
 2. カナダ
 3. オーストラリア
 4. メキシコ
- 問6 インドのベンガルールなどで盛んな情報通信技術（ICT）産業では、アメリカ合衆国の企業からソフトウェア開発などの業務を請け負う事例が多く見られます。このビジネスが成り立つ地理的な要因について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2026年 北海道公立入試 類似)
1. 二国間の距離が非常に近く、海底ケーブルを短距離で敷設できるため
 2. 緯度の差による季節の逆転を利用し、農作物の収穫時期を補完しているため
 3. 経度の差によって生じる時差を利用し、地球の反対側で業務を分担しているため
 4. 両都市が同じ経線上に位置しており、通信の遅延が全く発生しないため
- 問7 東南アジア諸国の経済統計を比較したとき、人口約9600万人、1人あたりの国民総所得が約2000ドルで、輸出品の上位に「機械類」「衣類」「はきもの」が並ぶ国の産業の歩みについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 新潟県公立入試 類似)
1. 1970年代から「ルックイースト」を掲げ、日本などの東アジアの国々の発展に学ぶことで工業化を推進した。
 2. 広大な国土と山岳地帯の資源を活かし、銅の輸出が国内経済の大部分を占めるモノカルチャー経済となっている。
 3. 豊富な石炭や天然ガスなどの地下資源を背景に、エネルギー資源の輸出を経済成長の柱としてきた。
 4. ドイモイ（刷新）政策を導入して市場経済への移行を図り、外国企業の誘致を進めることで工業化を達成した。
- 問8 インドの宗教文化と人々の生活に関する記述として、最も適切な内容を選びなさい。 (2019年 鹿児島県公立入試 類似)
1. ヒンドゥー教を信仰する人々は、ガンジス川を神聖なものと考え、その流域で儀式的な入浴を行い罪を洗い流すと信じている。
 2. 国民の多くが仏教を信仰しているため、東南アジアを流れるメコン川を聖なる場所として巡礼する習慣がある。
 3. ヒンドゥー教徒は牛を神聖な動物として扱うため、ガンジス川の周辺で大規模な牛の放牧を行い、その食肉を輸出の主力としている。
 4. イスラム教が最も広く信仰されているため、ガンジス川のほとりにあるモスクに集まり、毎日集団で沐浴を行う。
- 問9 東南アジアの国々が、経済、社会、文化的な協力を通じて地域の平和と安定を促進することを目的として結成した国際組織の名称を、次のうちから選びなさい。 (2016年 岡山県公立入試 類似)
1. APEC（アジア太平洋経済協力会議）
 2. ASEAN（東南アジア諸国連合）
 3. EU（欧州連合）
 4. NAFTA（北米自由貿易協定）
- 問10 日本企業がアジアの新興国へ工場を進出させる要因について、労働賃金の観点から述べた説明として、空欄にあてはまる適切な語句の組み合わせを選びなさい。「韓国や中国と比較して、ベトナムなどの新興国は（①）が著しく（②）ため、企業は（③）を低減させる目的で進出を加速させている。」 (2017年 長崎県公立入試 類似)
1. ①合計特殊出生率 ②高い ③販売価格
 2. ①天然資源の価格 ②安価な ③輸送コスト
 3. ①月額平均賃金 ②高額な ③関税
 4. ①月額平均賃金 ②安価な ③生産コスト
- 問11 東南アジア地域の経済成長と地域の安定を目的として、1967年に結成された地域協力機構の名称として正しいものはどれですか。 (2026年 富山県公立入試 類似)
1. 東南アジア諸国連合（ASEAN）
 2. アジア太平洋経済協力会議（APEC）
 3. 環太平洋パートナーシップ協定（TPP）
 4. 欧州連合（EU）